

2026. 3. 13

## 地域企業とスタートアップの共創を加速「しずおかビジョン共創1号ファンド」を設立 ～地域企業が参画し、静岡発のイノベーション創出をめざす～

静岡キャピタル（社長 茂野恵介）は、地域企業とスタートアップの共創を通じた新産業創出および地域経済の持続的成長を目的に、「しずおかビジョン共創1号投資事業有限責任組合」を設立しましたので、その概要をご案内します。

本ファンドは総額 20 億円規模で、しずおかフィナンシャルグループに加え、地域企業や金融機関など複数企業が参画する共創型ファンドです。静岡県を中心とする地域企業と革新的なスタートアップを結びつけることで、新たな事業機会の創出や地域課題の解決を図り、静岡発のイノベーション創出をめざします。

### 1. 設立の背景・趣旨

- 地域経済を取り巻く環境は急速に変化しており、デジタル化の進展、GX（グリーントランスフォーメーション）、人材不足など、さまざまな構造課題への対応が求められています。
- こうした課題の解決や新たな産業の創出に向けては、スタートアップとの連携によるイノベーション創出が不可欠となっています。
- 本ファンドは、単なる金融投資にとどまらず、出資企業が有する事業基盤、顧客ネットワーク、技術力などの資産を活用し、スタートアップとの実践的な事業共創を推進することを目的に設立しました。

### 2. ファンドの特徴

- (1) 地域企業連合による共創プラットフォーム
  - ・出資企業各社は、本ファンドを通じてスタートアップとの協業を推進し、新規事業創出、DX・GXの推進、地域課題の解決など、多面的な価値創造を推進します。
- (2) 地域イノベーション・エコシステムの構築
  - ・スタートアップ、地域企業、金融機関が連携することで、持続的にイノベーションが生まれる地域エコシステムの構築に取り組みます。

### 3. ファンドの概要

設立日	2月27日（金）	
ファンド名	しずおかビジョン共創1号投資事業有限責任組合	
ファンド総額	20億円	
投資対象先	静岡県・愛知県・神奈川県・東京都・大阪府に本社・事業所を有するベンチャー・スタートアップ企業 ※すべての成長ステージを対象とする	
投資対象債権	普通株式、種類株式、新株予約権、新株予約権付社債など	
出資者および割合	静岡銀行：47.5%、外部LP：20%、GP（静岡キャピタル）：32.5%	
参画企業 （五十音順）	金融機関	大和証券グループ、三井住友信託銀行株式会社
	地域企業	木内建設株式会社、静岡ガス株式会社、鈴与株式会社 株式会社 TOKAI ホールディングス
ファンド期間	10年間（最大2年まで延長可能）	
1社あたりの投資額	投資ステージや事業内容等を踏まえ、個別に決定	